

出 会 い の 森

地域で学ぶ 6年生カヤック体験

校長 廣瀬 尚美

今年度も地域や保護者の皆様のご協力のもと、6月9日に6年生が赤野井湾でカヤック体験を行うことができました。講師の先生や、玉津・小津漁業協同組合の皆さん、守山消防団玉津分団の皆さん、えり市さん、河西交番の皆さんが子どもたちの活動を支援してくださいました。今年度から保護者の皆さんにボランティアを募り、移動の安全の見守りや活動の手助け、カヤックの運搬、後片付けまで行ってくださってとても助かりました。

おかげさまで、当日は梅雨入りした後のどんよりとした曇り空を吹きとばし、子どもたちはとても晴れやかな表情で元気いっぱい活動できました。

カヤック体験は、20年以上続く玉津小学校伝統の体験活動です。5年生の時に「うみのこ」で琵琶湖を一周している子どもたちに、地元の湖岸を水鳥の目線で水上から体感してほしいとの思いからスタートしたそうです。

カヤック体験を終えた子どもたちの感想を紹介します。

- ・ 水は草のにおいがした。カイツブリはいたけど、魚は見つけれなかった。ごみは思ったよりなかったけど、水の上にはちょこちょこ浮いていました。お弁当のバランがたくさんあったので、家で捨ててほしい。
- ・ 川の水が汚かったから赤野井湾の水をきれいにする活動があったらやってみたい。
- ・ カヤックはドキドキハラハラがあってとても楽しかったです。お母さんやお父さん、お姉ちゃんにもこの気持ちを伝えたいです。
- ・ ペットボトルなどのプラスチックごみやお弁当のごみなどがあったので、しっかりごみの管理をしたら川などのごみが減るのかなと思いました。川などにあったごみをカヤックでひろいたかったです。
- ・ カヤックは落ちそうだったけど、大人の人たちが声をかけてくれて安心した。6年生の思いが増えた。
- ・ この前、そうじをしてもらったばかりなのにゴミが多くて、すぐに汚れてしまうのだなと思いました。私はこれからもできるだけ自然に触れ、琵琶湖を守っていきたいです。
- ・ 実際に行ってみて、つりではつれなかったけど、タニシの卵とか自然を見れてよかった。
- ・ ブールでは上手にイケたから本番でも上手にイケると思っていたけど、他の人とぶつかったり変なところにハマったりして大変だったけど、なれば簡単だし、何より楽しかったからまた行ってカヤックに乗りたくなって思った。

カヤック体験は、総合的な学習の時間に「未来の玉津を考えよう」をテーマに「めざせ赤野井湾アンバサダー」として取り組んでいます。昨年のフローティングスクールでは、琵琶湖環境学習で観察や調査に熱心に取り組みました。今回は、自分たちの身近な赤野井湾についてさらに意欲的に学ぶことができると思います。今後は、琵琶湖パールの母貝であるイケチョウガイをクロージアアップしていくようです。赤野井湾は、赤野井湾再生プロジェクトなど赤野井湾の再生を願う人々の努力で環境の改善が進んできました、多くの人々の願いと努力を引継ぎ、美しく豊かな赤野井湾の魅力を他の人たちに広めていける存在になってほしいです。

玉津学区の皆さんには、子どもたちがより良い環境でカヤック体験ができるようにと、5月30日に赤野井湾クリーン大作戦（ごみ拾いと湖岸の清掃）を実施していただきました。多くの方々に支えてもらって、「玉津が好き」な子どもたちに成長しています。地域に愛着をもてると人に対して思いやりのある行動につながります。これからもよろしくお願いします。





玉津小のこどもたち(1学期)



入学式準備



交通安全教室・避難訓練

自分たちの命を守るために
真剣に取り組みました。



体育館白草掃除



みんなのためにがんばれる玉津っ子

入学式準備やプール掃除、愛校活動など気持ちよく生活できるように頑張りました。楽しみながら活動できる子がたくさんいて、すてきだなと思います。



多くの方にお世話になり、体験的な学びができました。

カヤック、田植え体験、びわ湖ホールへの校外学習、校区探検での玉津の名所案内、書写など多くの学習にボランティアに来ていただきました。多くの方にかかわっていただき、子どもたちは成長しています。ありがとうございます。

